

## 医療アラートの発出基準

### 1 主旨

受入可能病床数に対する入院者・重症者の割合や、全県の療養者数その他のモニタリング指標の状況を基準に、医療提供体制の負荷の状況に応じてアラートの発出を行う。

### 2 発出基準

- 医療アラートの発出は、下表1における要件1から要件2までをいずれも満たす場合に行うことを原則とする。
- 要件1として入院者/受入可能病床数の割合※1、重症者/受入可能病床数の割合などの病床使用率を基準とするほか、要件2は発生事例の分析による医療への負荷の拡大リスクの総合的判断を基準とする。

【表1：医療アラートの発出基準】

アラート	医療提供体制への負荷の状態	要件1 病床使用率の目安※2	要件2 発生事例の分析による医療への負荷の拡大リスクの総合的判断
—	通常体制		
医療警報	医療提供体制への負荷が拡大している状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院者/受入可能病床数の割合=25%以上</li> <li style="text-align: center;">又は</li> <li>・重症者/受入可能病床数の割合=10%以上</li> </ul>	さらに感染が増加し、医療への負荷が拡大していくリスクが高いと認められる
医療非常事態宣言	医療提供体制のひっ迫が懸念される状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院者/受入可能病床数の割合=50%以上</li> <li style="text-align: center;">又は</li> <li>・重症者/受入可能病床数の割合=25%以上</li> </ul>	病床ひっ迫により適切な医療が提供できなくなるおそれが迫っていると認められる

※1 当初の受入予定病床（350床）以外の病床に入院している者がいる場合は、当該入院者数を除いた割合とする。

※2 軽症者の割合等を含めた医療提供体制の状況を総合的に勘案して柔軟に判断を行うものとする。

- このほか、特定の圏域において多数の入院者が発生し、かつ他圏域の医療機関への入院調整等により全県の医療提供体制への負荷が生じていると認められる場合は、県民にその旨の情報発信を行い、注意喚起するものとする。

### 3 医療アラートの解除について

①アラートの発出から14日間以上経過し、②病床使用率の目安が基準を下回っており、③かつ当面感染が再拡大していくリスクが低く医療提供体制への負荷が低減されると認められる場合はアラートを解除する。

### 4 医療アラートに応じた対応策の目安

アラート	対応策の例
医療警報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊療養施設の増設</li> <li>・必要に応じて病床拡充の要請</li> </ul>
医療非常事態宣言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出自粛や飲食店等に対する営業時間の短縮、ガイドラインを遵守していない施設に対する使用停止（休業）等の要請により療養者の減少を図る</li> <li>・確保した全病床への受け入れを要請</li> </ul>